

塾 路地奥 サロン

住民主体のまちづくりは幻想なのか?

第70回 塾路地奥サロン

「住民主体のまちづくり」について、これまで揺るぐことなく重要であると考えられてきました。しかし現実では、地域への関心が薄れている等を背景に、「主体である住民が誰なのか」分からなくなる場面も出てくるようになってはいないでしょうか。

今回は、コミュニティデザイン等について地域と連携しながら実践的に研究を進められてきた寺川先生をお招きし、住民が本当に主体となるために大切なことは何かを一緒に考えます。

令和7年 7月25日(金)

18:30~Start

参加費無料

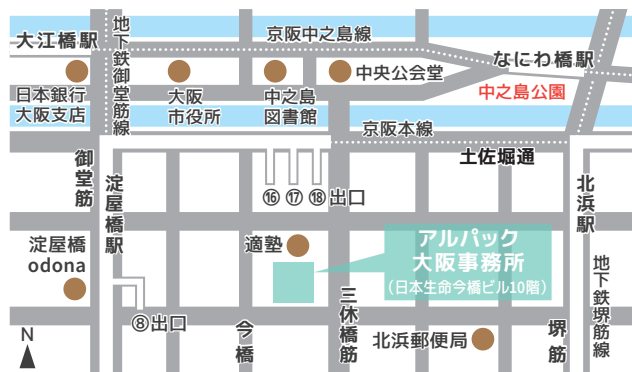
※会場(先着申込順10名程度)及び
オンライン(定員上限無し)併用開催

講師 寺川 政司 氏

近畿大学建築学部建築学科准教授
専門 | ハウジング、まちづくり、都市・地域計画



1967年大阪府生まれ。1999年CASE環境計画研究所を設立。2001年に有限会社ケース「CASEまちづくり研究所」に改組し代表となる。2002年神戸大学大学院自然科学研究科修了。2019年都市住宅学・都市住宅学会会長賞受賞。居場所づくりを通じた地域の再価値化に関する研究をはじめ、新たなハウジングスタイルの構築、リノベーション事業やコミュニティデザインによる持続可能なまちづくりに関する実践的研究を進めている。



会場: アルパック大阪事務所 大会議室及びオンライン開催

申込 方法

弊社ホームページもしくは下記 URL の申込フォームから7/23(水)までにお申し込み下さい。
右QRコードよりフォームのURL取得可能です。
<https://forms.gle/j9n5YPPfxE3jYeSJ8>
※お申込み出来ない場合は、①氏名②所属③電話番号④メールアドレスを明記した上、rojiokusalon.arpak@gmail.comまでメールして下さい。



塾
路地奥
サロン

21世紀に入り、地域を取り巻く課題はより複雑化、高度化しており、単純なハードとソフトの融合というツールだけでは解決できない状況となっています。

アルパックでは、今一度、多方面で活躍されている実践者や研究者の方々による具体的な活動や事業から「まちづく

り」を見つめ直し、再定義し、「21世紀型の持続可能なまちづくり」のあり方等について、大阪事務所横の塾路地奥のように「教えあい、学びあう」活発な意見交換を行いたいと考えています。